

やすらぎ

平成21年10月1日
〔第126号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

第13回モラロジー生涯学習セミナー開催

9月17日・18日の2日間御所市アザレアホールにて、御所モラロジー事務所として13回目の生涯学習セミナーが開催されました。今回は、愛媛県西予市在住の沖野 一（かず）講師と三重県伊賀市在住の榎 正和講師をお迎えしました。参加者合計262名、うち初参加の方が64名で24%ありました。



19:00 から吉田 実代表世話人の開会の挨拶からセミナーが始まり、来賓の挨拶として東川 裕御所市長においで頂き15分程お話をして頂きました。市長は「御所市の財政も苦しい立場に置かれていますが、今こそ市民が一丸となりこの難局を共に越えられるチャンスが来たと前向きに捕らえて頑張ってください。人生とは心の受け取り方一つで大きく変わります。サブテーマでもある『今こそ気づく心のチェンジ』を合言葉に行政に取り組んで参ります」と挨拶され私は深い感銘を受けました。

続いて、一日目の講義に入り榎講師よりは「幸福になるか？不幸になるか？は、自分自身の考え



方や心の働かせ方により大きく左右されます。心の働かせ方には、自分中心に物事を考える心と、相手中心に考える心の2通りがあり、知らず知らずのうちに人間は自分中心の心遣いになってしまう特徴を持っている」と説明して頂きました。沖野講師からはもっと具体的に「自分中心に考える心のベースは、責める心・求める心・排斥の心が基本となり、慈愛の心(道徳心)は、反省の心・感謝の心・祈りの心が基本となり、どの心を使うかによって人生は変わってしまいます」と話されました。

二日目も、榎講師の講義から始まり「私達の人生を根底から支えている人類共通の恩人の系列があり、いのちを



生を根底から支えている人類共通の恩人の系列があり、いのちを

育てるもの・社会生活を支えるもの・精神生活を支える3つのものがあります。中でも、祖先や両親の恩恵に気づき、感謝し恩に報いる生き方をすることが幸福になるポイントである」と話されていました。沖野講師は「天地間には一定不動の法則が存在し、万物の興亡、盛衰、生滅がなされている事実を認識すれば、幸不幸、運不運は一朝一夕の問題ではなく、永い間の善悪の心使いと行為の累積により、運命は形づくられてきます」と幾つかの事例を教えてくださいました。最後に「一定不動の法則に従う勇氣、どんな運命でも受け入れる勇

沖野一講師にお泊り頂いて

今回のセミナーを受講された一ご家庭の開発



救済に二夜晩くまでご指導を頂きました沖野講師は、多くの経験と徳性豊に的確に応答され貴重な体験を交えながら、特に複雑な人間関係は道徳の実行以外に解決は出来ない。今後も引き続き深く勉強されますようにとご指導を賜りました。

お宿を請けさせて頂きお陰様で種々特段に勉強させて頂きました。諸伝統はじめ関係各皆様方に衷心より感謝申し上げる次第です。

くらもと

気を忘れずに生活をしてください」と穏やかに話されたのがとても印象に残りました。

最後に、岡川福弘実行委員長の閉会の挨拶がありました。受講者の皆さんの笑顔を見送りながら心に広がる温かいモノを感じることが出来ました。

レポート係 細川 成樹

榎講師のお宿を受けて

そもそも榎講師とは2007年2月の柏生涯学習センターで行われた第99回原典研究講座で一緒したのがきっかけです。そんなご縁で今回のお宿を久しぶりに引き受けさせていただきました。

父が健在なときは、たびたびお宿を受けさせていただいていたのですが、私の代になって初めてのことで、お宿を受けると言うことは女性にとっては大変なことなので、十分に妻と話し合いをし



て、母に報告してお受けすることにしました。

今後のこともあり、昔のように負担の掛からない、大層なことはせずにおもてなしをしようと決めました。しかし、いくら大層なことは出来ないにしても二日間気疲れしたように思います。当時の父や母のときは三日間という日もあったので、

大変さが今になって良くわかったような気がします。

榎講師は気さくな方でよくお話をしていただきましたので、何の気兼ねもなしに対応でき、二日間ともに時間の経つのも忘れ、気が付けば0時を回っていたりして、楽しい時間を過ごさせていただきました。特に榎講師の嫁姑の話題になったときには、妻は同調するかのように聞き入って

おりました。

ともあれ、今後のこともあり妻には後日メッセージに連れて行き機嫌をとっておきました。

富士俊隆

歩こう会 北部台高縦走

御所から東を見ると、遠く連なる山々が見える。大台ヶ原の「台」と高見山の「高」をとって、台高山脈。三重県との県境を南



北に 1200m以上の山々が走る。南の大台ヶ原から三津河落山、添谷山、馬ノ鞍峰、池木屋山、国見山、伊勢辻山から北の高見山まで 30km に及ぶ。

8月23日(日)歩こう会4人は、その北の一部、一昨年秋に登山した明神平から、北の高見峠(大峠)までを縦走することになった。

車2台に分乗し出発。まず、終着点の高見山の麓、大峠へ車を1台デポする。続いて、もう1台でぐるっと東吉野村の大又へ。明



神平への登山口駐車場には既に 10 台余の車が止まっている。ここまでの準備に2時間半かかり、登山開始は 9:10。アキアカ

ネが飛び交っていた。

Yさんを先頭に順調に登り、明神滝を過ぎ、最後の水場で手を洗い、水を飲む。旨い。親子の鹿が姿を見せてくれる。途中、大好きな「生もの(へび)」にも会い、UさんやSさんの感激を得る。前回は雨天で姿を見せて貰えなかった、薊岳がきれいな雄姿を見せる。

11:10 明神平に到着。テントも張られ、人影も多い。

そこから、水無し山へは登山者は無く、ひっそりとしている。稜線から見える景色



は素晴らしく、大峰の山々がダイナミックにその姿を見せる。北から、四寸岩山、大天

井ヶ岳、山上ヶ岳、大普賢岳。山上ヶ岳、大普賢岳の間にくっきりと尖った、近畿の



最高峰八経ヶ岳と弥山が。更に南へ続き、釈迦ヶ岳まで。東側は伊勢の山々が連なり、

前回登山した局ヶ岳の尖った勇姿が見える。渡る風はひんやりとして気持ち良く、既に秋の気配。

写真の「ウシロくら」の西側は絶壁になっていて、景色も良く、ここで昼食とする。

定番のコンビニざるそばを2つも食した女性もおられた。

快適に縦走路をたどり、国見山、途中、赤ゾレ山の頂上付近でルートを逸するが、地図を丹念に見直し、少し戻り、正しい縦走路に出る。伊勢辻山を過ぎ、奇妙な名前のハンシ山、ハッピータワなどを過ぎ、最後の登りは、雲ヶ瀬山。僅か70mの高度を稼ぐのに一苦労した。

雲ヶ瀬山の下りにかかるのと、ついに、最終地の北側にそびえる高見山が見える。大峠到着、4時。延々7時間の道程であった。



デポしてあった車に乗り、大又の登山口まで走り、近くのやはた温泉へ。最後はやっぱり「風呂」。極楽、極楽。

久しぶりの本格的な山歩きに満足して帰宅。高取のスーパーにて解散としたが、あたりはすでに薄暗くなっていた。

とく

生かして歩く(3) 太安万侶たち

行基はいつも北東を目指して、噴水の上に立っただけ。

「東向き通り」の混雑を三条通りへと出て、右へ折れる。藤原不比等はかしこみて元明天皇に仕へ奉りて、「遷都の計画」は綿密周到に進めた張本人とされるだけに、片や自分に利することが大変利己的で感心する。

三条大路がそれである。便利良い三条通りは西は難波に通い、東は藤原氏の興福寺、春日大社、奥山から基点御蓋山(みかさや



ま)に全て一直線である。御蓋山こそ、藤原氏の祖神武甕槌命が一足早く、御蓋山の頂上に降臨したとの神話に始まる。阿倍仲麻呂が唐の都から、惜別の思いで平城(なら)の都をしのんで詠んだ御蓋山は有名である。

10分後にJRの踏切を渡り、背高いホテル日航の角の大きな広場のような道路を通過すると、奈良女子高校の校舎が左手に見えて来る。少年時代に在った少女達の白藤学園なのだ。この場所こそ太安万侶がかつて住んでいた左京四条四坊の所在地である。随分良い場所に住まいしておられたと思う。彼の自宅は四条区画にあって道は三条大路

に面して、朝早く、朱雀大路へ出て朱雀門から朝集殿を抜け、朝堂院の「康楽堂」の主税寮と主計寮も配した民部省民部卿(長官)の座にすわる。民部省は民政と財政までの兼ねた務めを持ち、朝礼、朝の政(まつりごと)に参加し、午前中で終えるのが常とした。午後はそのまます下級役人と書記官の仕事であった。

安万侶の民部卿在任当時の彼の上司には、知太政官事 舎人親王、左大臣 長屋王、大納言 多治比池守、中納言 藤原武智麻呂並びに大伴旅人。安万侶の履歴は色々な資料から推測すると、仕官は21才以上で「古事記」筆録は30才半ば、民部卿になり、多氏の氏長者となったのは40才代後半、50才少し過ぎて(養老7年)没したであろうとされる。長屋王、多治比氏、大伴氏からみれば、民部卿止りで人生を終えた安万侶の後続は、平安時代以降に雅楽家として栄えたことに微笑みがわく。

古典は、日本人の古来からの人達が時間をかけて守り育ててきた貴重な文化遺産であろうと思う。

「古事記・日本書紀」には「舟に刻みて・剣を求む」のたとえがあるだろう。しかし、僕は、日本人が遠い過去からやって来て、日本人にしかない「魂のさけび」を持って、いきいきと次代へ伝えようとする伝言者の一人であろうと、思い続けようとしている。

トーマス・マツムラ

運営委員会報告

9月の運営委員会は9月22日、午後8時より事務所で開催されました。出席者は11名。

吉田代表世話人は「生涯学習セミナーと敬老キャンペーン ニューモラル誌配布、ご苦労様でした」と挨拶し議事に入りました。

報告事項

1 廣池幹堂理事長は、来る11月10日(火)伊勢神宮に参拝されます。参加希望者は、代表世話人まで申し込んでください。詳しくは、事務所内後ろの掲示板に掲示します。

2 第13回生涯学習セミナーの報告と反省(岡川実行委員長)

9月29日(火)20:30から反省会を行います。

10月17日(土)伊勢神宮へ「セミナー終了御礼参拝」に行きます。

9月末日までに御所市教育委員会

へ御礼に行きます。(30,000円寄贈)

3 皇室カレンダー申し込みについては、10月29日(木)締め切りで地区委員が取りまとめる。(1部590円)

4 各クラブ、他
女性クラブ(田村クラブ長)
9月10日(木)県協議会女性クラブがあり、出席してきました。

ビジネスクラブ
10月3日(土)企業訪問をします。参加希望者は、杉村ビジネスクラブ長まで申し込みください。

審議事項

1. 生涯学習セミナー「事後開発」講演会開催計画については、11月または来年2月に予定、近日中に実行委員会を開催し検討する。

参加者 セミナー 内訳	参加者 合計	26 2名	男性 159名(60.1%) 女性 103名(39.3%)				初参加 64名(24.4%) 維持員 49名(18.7%)		
	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
		4名	37名	52名	34名	43名	61名	31名	262名
		1.5%	14.1%	19.8%	13.0%	16.4%	23.4%	11.8%	100%

9月22日ライフ御所店に於いて敬老キャンペーン、ニューモラル配布を行いました。

ほとんど敬老関係者??、7人と米田さんのお孫さん(ハジメちゃん)とで、午後4時前から約1時間400部近くの「ニューモラル敬老特別号」を配布しました。

配布前半、余り乗り気でなかったハジメちゃん、後半はとても楽しそうに配布してくれました。

きん

